

会議体キャッチフレーズ及び基本方針（案）

創始の精神を未来へつなげ！

創立 65 周年記念特別会議特別議長 佐藤 光展

創立 65 周年記念特別会議実行委員長 土江田 尚明

札幌青年会議所は 1951 年 6 月 11 日に国内 18 番目の LOM として設立され、運動の灯をともしてから本年度で 65 周年を迎えます。節目の年となる今、創始の精神に立ち返り JAYCEE として姿勢を正し、次代へ引き継ぐ理念を先達が挑戦し続けた一つひとつの足跡から辿り、地域を発展させる変革の種を撒き、直向に育む SAPPORO の進路を示し、受け継がれた運動の灯を絶やさぬよう未来へつなげる記念事業の実施が必要です。

まずは、創立より受け継がれた高い志と築き上げてきた歴史と伝統の重要性を認識するために、札幌青年会議所の栄光の歴史を回顧し、社会の背景が変わりゆく時代においても変わらず核心を追求し続け、地域発展へ貢献した功績に対し敬意の念を持って師事します。そして、子供たちに夢を描ける未来を贈るために、創立以来 65 年間、絶え間なく展開してきた運動の根幹を見出し、受け継がれた JC 運動を飛躍させるとともに SAPPORO の進むべき道を示します。また、まちを発展させるために、JAYCEE が一丸となり全国大会を招致する環境を構築し、実現に向けて強い責任感と自覚を持って招致運動に参画します。さらに、魅力ある地域を創造するために、事業の客観的な検証を行い未来の礎とし効果的な事業を推進するとともに、魅力的な活動を続ける人材を発掘して発信します。そして、札幌青年会議所が掲げる理想を実現するために、JAYCEE として常に謙虚な姿勢で人々と接し共感を得るとともに、多くの同志が集い議論を交わし、真摯に運動へ邁進する中で自然と私たちの運動は説得力を有し、組織の品格を高め会員を増強します。

受け継がれた創始の精神の確かな継承と俯瞰的な視野で描いたビジョンが未来を切り開き、明るい豊かな社会の実現へ導く道標となります。失敗を恐れず勇猛果敢に挑戦し、情熱が漲る運動で地域社会を発展させ、夢や希望が溢れるまち SAPPORO を創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

未来のために育てよう S A P P O R O の種！

副理事長 神代 晃嗣

魅力あるまち創造室担当常任理事 勝木 征史

1 私たちが住み暮らす札幌は、国を越え、理想を追い求めた先達の努力により、先進的な
2 都市と四季折々の風景とが共存する、個性と魅力のあるまちへと発展してきました。しか
3 し、市民や諸団体によるまちづくり運動は、個別の活動が多く、発信力や有機的な連携に
4 欠けているという現状があります。我々が、札幌のさらなる発展を見据えたビジョンを掲
5 げ、運動を戦略的に展開・発信し、地域と連携するまちづくりを実践する必要があります。

6 まずは、まちづくりに貢献する人々が輝く S A P P O R O を創造するために、札幌に潜
7 在する魅力ある人材を発掘するとともに、我々の理念に基づいた運動を戦略的に展開し、
8 市民のまちづくり意識を高めます。そして、対内外との連携を強化し、青年会議所運動の
9 効果を高めるために、志を同じくする団体や仲間の情報と活躍を伝えとともに、市民が
10 必要とする情報を発信し、我々の運動を幅広く周知します。また、国・民族を超えた友情
11 を構築するために、民間外交の活性化を図り、相互理解を深めます。さらに、強固な絆を
12 構築し、LOMの結束力を高めるために、メンバーの活躍を再確認するとともに、組織の
13 一体感を高める場を創出します。そして、まちの魅力を向上させるために、魅力ある人々
14 や我々の魅力ある運動を対外褒賞事業に申請し、全国に発信します。また、全国大会開催
15 による S A P P O R O のさらなる発展のために、メンバーが一丸となって、まちの新たな
16 可能性を引き出す準備を進めます。さらに、札幌青年会議所が行う運動の推進力を強化す
17 るために、より魅力ある運動を展開するとともに、効果的に発信し、会員拡大に努めます。

18 札幌青年会議所の持つ発信力が高まり、崇高な理念と熱い情熱を併せ持った魅力的な運
19 動が市民と共有されたとき、まちに有機的な連携が生まれます。輝かしい未来に向かって
20 市民一人ひとりと想いをひとつにし、夢や希望が溢れるまち S A P P O R O を創造します。

会議体キャッチフレーズ及び基本方針（案）

未来につなげよう誇り高き仲間と共に

全国大会招致特別会議特別議長 森田 宣広

全国大会招致特別会議特別副議長 斉藤 慎也

1 札幌市は、1922年の市制施行以来、市域を拡大し発展を続け世界に誇れる都市とな
2 りました。しかしこの歴史には、一人ひとりの強い志が継承されSAPPOROを夢描く
3 多くの、先人たちの不断の努力があったからなのです。今こそ、次代を担う責任世代であ
4 る我々が、先頭に立ち強い志を胸に意識変革の運動を行い、市民と行政が一体となったま
5 ちづくり運動に向け、メンバーの意識向上による組織基盤の強化が必要であると考えます。

6 まずは、メンバーの意識を統一するために、基幹となる理念を掲げ市民と共に札幌の活
7 性化に向けた運動の方向性を示します。そして、メンバー一人ひとりが積極的に招致運動
8 を行うために、運動を行う意義を認識するとともに今後のまちの可能性を表明しSAPP
9 OROの創造につながる効果的な機会を創出します。また、全国大会の目的や価値を市民
10 と共有するために、自身が札幌の歴史や文化を探究するとともに、行政・諸団体との意見
11 交換を行い招致運動への意識を統一します。さらに、LOMの基盤を強固にするために、
12 現役メンバーの綿密な連絡調整を行うとともに、シニアクラブ会員と現役メンバーの絆を
13 さらに構築します。そして、LOM及び札幌のさらなる発展を実現するために、全国大会
14 札幌大会開催に向け2017年度へ厳正に引き継ぎします。また、LOMが行う運動の認
15 知度をさらに高めるために、まちで活躍する多くの人を発掘するとともに、地域の発展へ
16 つなげ、全国へ発信します。さらに、市民へ組織の影響力を高めるために、自身が魅力あ
17 る人材となり、共に札幌の未来を描ける仲間を多く集め、組織的に会員拡大運動をします。

18 全メンバーが、招致運動に当事者意識を持ち能動的に活動することにより、行政・諸団
19 体と確固たる連携が生まれます。地域の歴史を再認識し、地域の持つ力を原動力にすれば、
20 新たな歴史が刻まれ笑顔に満ちた、夢や希望が溢れるまちSAPPOROを創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

未来を見据えるリーダーと成れ！

副理事長 小野木 完司

魅力ある人材育成室担当常任理事 石黒 真司

1 我々が住むまち札幌は、先人の努力により、雄大な自然と都市が共存する魅力あるまち
2 へ発展を遂げてきましたが、現在の札幌は様々な課題が明確化しており、解決が急がれて
3 おります。しかし、その課題を解決するためには、まず、まちを想い、市民のために積極
4 果敢に行動する人材が必要であります。今こそ、我々の運動を伝播し、明るい豊かなS A
5 P P O R Oの創造のために未来を牽引するリーダーと成る魅力ある人材の育成が必要です。

6 まずは、魅力あるまちS A P P O R Oへ発展させるために、行政や関係諸団体へ、2 0
7 1 6年度の札幌青年会議所が取組む運動の方向性を発信し、今後の活動に対し理解を深め
8 ます。そして、明るい豊かな都市を生み出すために、今一度札幌に目を向け、新たな社会
9 を創出できるリーダーの発掘・支援を行うとともに、市民一体となり成長することができる
10 機会を創出します。また、S A P P O R Oの創造へ向け人材を育成するために、今後の
11 まちづくりを担う青少年の育成に取り組めます。さらに、同じ目標へ向け運動を推し進める
12 ために、会員相互の交流を図り、今後の運動に対する機運を高め、メンバーの意識の共有
13 化を図ります。そして、まちの発展につなげるために、明確に全国大会の意義や目的を理
14 解するとともに、札幌の可能性を全国へ発信し、招致運動に邁進します。また、我々の運
15 動の発信力を強め、地域発展の一助とするために、対外褒賞事業へ申請を行います。さら
16 に、地域に必要とされる組織へ昇華するために、メンバーが一丸となり取組むことができ
17 る会員拡大の手法について調査・研究を行うとともに組織の発展へ向け運動に取り組めます。

18 我々が強い思いを持ち率先して行動し、その思いがまち全体へ伝播し様々な課題の解決
19 に結びつくことで、積極果敢に行動する魅力ある人材がまち全体に広まります。この魅力
20 ある人材一人ひとりの気概と行動が、夢や希望が溢れるまちS A P P O R Oを創造します。

室キャッチフレーズ及び基本方針（案）

つなげよう、責任力を揺るぎない組織力へ

専務理事 伊藤 龍平
常務理事 中目 雄介

1 札幌青年会議所は、65年間、札幌の成長に果敢に取り組み、札幌に住み暮らすひとと
2 地域と共に運動を展開して参りました。そして、SAPPOROを創る市民との協働は、
3 ひとの力を結集させ、互いの信頼なくして果たすことは出来ません。そこで、メンバーが、
4 JCの信用を担う意識を持って組織運営に対してより真摯に向き合い、健全な組織を求め
5 る社会の期待に応え、様々な運動を展開する力強い組織基盤を構築する必要があります。

6 まずは、我々が市民から真に必要とされる組織として運動を展開するために、札幌青年
7 会議所の諸規程が適正に運用され、個別具体的な問題に対応し、信頼性を担保し得るかを
8 検証します。そして、財政の健全な運用とコンプライアンス意識の醸成を図るために、各
9 会議・委員会が、公平公正に事業運営出来るよう審査・助言します。また、JC運動を構
10 成する様々な事業を実現するために、円滑に会員の意見を統合・反映する場を設けます。
11 さらに、我々が歴史と伝統への畏敬の意識とJC運動への積極性を高めるために、先輩諸
12 氏から脈々と継承された組織づくりを学び、互いに汗を流した仲間の努力を讃え合う場を
13 創出します。そして、札幌を成長させる担い手として新たな一歩を踏み出すために、札幌
14 の潜在力を高めて、全国大会招致につなげます。また、我々が取り組んできた事業成果を
15 国内外に広く伝播させるために、対外褒賞事業に参画し、全国と世界の共感を呼び起こし
16 て、メンバーの高い運動意識を醸成します。さらに、JC運動を推進するために、メンバ
17 ーが多く、青年経済人から信頼を得られる行動意識を携えて、会員拡大運動を展開します。

18 地域を担う我々責任世代が、規律ある青年経済人として行動し、札幌青年会議所を市民
19 からの揺るぎない信頼と大きな期待を集めることが出来る団体へと成長させ、市民との間
20 に育まれる未来への責任意識を礎に、夢や希望が溢れるまちSAPPOROを創造します。